

# 受章 おめでとうございます

平成25年度優良PTA  
文部科学大臣表彰

多古中学校PTA



千葉県国民健康保険団体  
連合会理事長表彰

萩原 承平さん(飯笹)



萩原さんは本業である歯科医師業のかたわら、多古町国民健康保険運営協議会委員として長きにわたり国民健康保険及び介護保険事業の振興と発展に貢献され、平成24年に制定された「多古町歯と口腔の健康づくり推進条例」の作成や、条例に基づいた健診事業などにも町歯科医師会の一員として活躍されています。

交通安全やあいさつ運動を全保護者と教員が当番制で年間を通じて行っている「さわやかおはよう運動」や親（特に父親）と一緒に部活動に参加することで共通の話題を作り、親子のコミュニケーションをはかることに視点を果たした「おやじも出番セミナー」。さらには中学に子どもがいる・いないに係わらず地域全体が協力して行われる「バザー」など長年にわたり熱心にPTA活動を行ってきたことが高く評価され、11月19日ホテルニューオータニで開催された日本PTA創立65周年記念式典において表彰されました。

受章にあたり、「大変光栄です。多古町が県下に先駆けて制定した条例は、大変意義のあるものと思います。高齢化社会において、特に口の中を清潔に保つことや良く噛むことは、体の健康にとっても重要です。これからも地域の皆さんのお役に立てるよう、体の続く限り頑張りたいと思います」と話されました。

## 編集後記

★昨年の暮れに、自宅の裏山にあるスギの木を数本切り倒しました。山と云っても15m程度なのでどちらかと言えば「ガケ」が正しいかもしれません。台風や強風の日は「倒れるんじゃないか」と思うくらい揺れるので、もし倒れて近所にご迷惑をかけてもいけないということ。直径はだいたい25cm程ですが、いざ切るとなるとかなり大変。冬にもかかわらず汗だくで、半日がかりの作業となりました。年輪を数えてみると、樹齢はおおよそ30~40年。亡くなって久しい祖父が、自分が生まれたころに将来家を建てる時に使えるようにと植えたものだと言っていました。そんな想いが込められて長い年月をかけて成長した木だと考えると、何とも言い表せない思いがしました。

★この冬の寒波に見舞われ外は突き刺すような寒さになりました。こういう日は家の中でこたつに入ってぬくぬくと過ごしたいですね。★お正月もあつという間に過ぎ、もう2月になります。と言えば節分ですね。焼いたイワシの頭をヒイラギの小枝に刺して玄関に飾り、「鬼は外！福は内！」と豆をまいて厄を払い、歳の数の豆を食べて健康祈願。初詣も行つたし、今度は節分を運を呼び込むぞと気持ちを入れてます。今年の恵方は東北東やや右。縁起を担ぐため恵方巻きにかぶりつかなきゃ!!と注文書を見ながらニヤリ。節分にかこつけて食べたいだけの食いしん坊な私でした。